

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.161

8月入り JXTGガソリン △0.5円 予想通りです!

- ガソリンはMOPS（輸入採算価格）⇒ JXTG基礎（基準）価格 ⇒ Platts陸上、4RIMになってます
と書くと「輸入採算価格が [49.9円]、JXTG基礎価格が [49.5円] では辻褄が合わないぞ」と思われるかもしれませんが。
「予想通り」としたのは、Platts陸上、4RIMが約1円安くなっているの、50銭以内にしようとするだろうと予想していたからです。

恐らく、 **A: MOPS連動** + **B: Platts陸上、4RIMより50銭以上高くない**

JXTG基礎価格はA、Bの条件に沿って作成されていると考えています。

Bは、月次清算を行わないためには必須だからです。セミナーで詳しくお話しします。

	JXTG基礎価格	輸入採算価格	Platts陸上	4RIM	TOCOM先物
7月19日	50.0	48.9	49.7	49.5	49.9
7月20日	50.0	50.0	49.7	49.5	49.9
7月21日	50.0	50.4	49.5	49.4	49.1
7月24日	50.0	48.1	49.3	49.4	48.3
7月25日	50.0	48.5	49.2	49.2	48.0
7月26日	50.0	49.9	49.1	49.2	49.4
7月27日	49.5				

「時価商品」である石油製品を「週決めで販売」（SSの掛売りの習慣から日決めはほとんど無理）して、月次清算を行わないというのは、「非常に困難」であり、かつ、「判りにくい」と思います = 「無理してる」状態

私としては JXTG基準価格：MOPS連動

JXTG基礎価格がPlatts陸上、又は、4RIMと（例えば）50銭以上高くなった場合には、月次清算が一番良いのではないかと想像しております。（エネ庁のガイドラインにも合致しています）
全てPRA指標である3指標を見てみましょう。

4RIMの欠点

（匿名の）業転商社の安売り ⇒ 商社の仕入れが下がる ⇒ 収益の最大化
このため、「負のスパイラル」により、クラックスプレッドの圧縮 ⇒ 元売収益の圧迫

Platts陸上の欠点

本来売手であるべき元売が「唯一の買手」になっている ⇒ 説得力に欠ける（元売が数字を作ってるのではないかという疑念）
私は、毎日見ておりますが、実名取引で透明性・公平性は非常に高いので、上記の欠点を補完してお釣りが来ると思います。

MOPSは上記2つの欠点がありません

- アジア地域の石油製品価格指標として定着している。（韓国は国内でも採用）⇒ 信用力が高い
- 4RIMの最大の欠点である「負のスパイラル」の可能性を排除できる。

どうしてJXTGはMOPS連動を公表しないのか？

- 近い将来は公表すると期待しています。
- その時には、月次清算方法の明示とセットだと思います。

メルマガに書けないことも多いです。セミナーのレジメにも書けないことも多いです。

上記の事項はセミナーで口頭のみでの解説します。セミナーで解説できないことは、懇親会でお聞きください。

「脱石油」イギリスも2040年ガソリン車・ディーゼル車販売禁止!

「エネルギー支配権」=「世界の覇権」

ガソリン車・ディーゼル車の販売禁止（PHVは除く）を明確に打ち出しているのは、英・仏・中国です。主要エネルギーが石炭だった時代の世界の覇権を握っていたことのある国々です。主要な理由が「NOx大気汚染」ですが、10ppmにせず、50ppmのままで、「脱石油」は解けません。日本国内では、10ppmになって10年以上、NOxの大気汚染の心配は無用です。とは言うても、日本国内でもトヨタも「50年にエンジン車をほぼゼロにする目標」が存在します。では、国内のガソリンスタンドはどうなるのでしょうか？

- 減販率は上昇 ⇒ SSの淘汰が進む？
- 早めに撤退した方がいい？

見方を変えると、今後少なくとも20~30年以上はSSが必要なのです。

「確実に勝ち残り」+「投資の早期の回収」が必須です。8/8セミナーで解説します。

8/8セミナー 映像DVD/音声CD絶賛受付中!

受付専用電話開設 03-5704-5760
平日(月)~(金) 09:00~18:00